

千葉県国土利用計画（第4次）／県内6ゾーンの区域区分と概要

【東葛飾ゾーン】 県北西部の東京都、埼玉県、茨城県と接する地域

< 強み > 都市的サービスや教育・文化機能の集積、収益性の高い都市農業、産学官連携による研究開発

< 課題 > 自然環境の減少、ものづくりの優位性の維持、都市型水害の防止、高齢者の増加に対応した生活環境の確保、住工混在地域の解消

< 方向性 > ①大学・研究機関等の研究機能を生かした国際競争力を有する広域的な交流・連携拠点の形成 ②自然と都市的・文化的な機能が調和した地域

< 土地利用 > 良質な住宅供給の促進、土地利用の高度化、誰もが暮らしやすい快適な居住空間、災害に強い市街地の形成、緑地・里山の保全

【北総ゾーン】 県北部の茨城県と接する地域

< 強み > 空港関連・物流関係・先端技術産業の立地、県内有数の農業生産、歴史・文化遺産を生かした観光産業

< 課題 > 自然環境の減少、里山の保全、農業の後継者不足、印旛沼の水質改善、空港までのアクセス改善、千葉ニュータウン事業の円滑な推進

< 方向性 > ①成田国際空港と周辺地域が共生し、力強く発展していく国際空港都市圏の形成 ②物流産業、農業、観光等の振興による、豊かな自然と都市機能が調和した地域

< 土地利用 > 成田国際空港周辺地域の国際物流機能等の集積、自然や歴史・文化遺産の保全・活用、ほ場整備等による農地の保全、印旛沼の水質改善、圏央道・北千葉道路の整備

【湾岸ゾーン】 県北西部の東京都と接する地域

< 強み > 多様な産業集積、国際業務・研究開発・都市的サービス等の都市機能、収益性の高い都市農業、千葉港

< 課題 > 自然環境の減少、急激な都市化に伴う都市基盤整備の遅れ、都市型水害の防止、高齢者の増加に対応した生活環境の確保、住工混在地域の解消

< 方向性 > ①多様な都市機能の集積や伝統文化等の地域資源を活用した自立性の高い地域の形成 ②自然と都市的・文化的な機能が調和した地域

< 土地利用 > 良質な住宅供給の促進、土地利用の高度化、誰もが暮らしやすい快適な居住空間、災害に強い市街地の形成、都市農業の振興、河川の安全性の確保、三番瀬の再生

【千葉東部ゾーン】 県北東部の太平洋に面した地域

< 強み > 銚子漁港や九十九里浜の海岸景観、県内有数の農業生産、水産加工業や内陸部の加工組立型工業

< 課題 > 少子高齢化の進展に伴う農林水産業の担い手の減少、農地・森林の荒廃、九十九里浜の侵食、美しい海岸線等の良好な景観の保全

< 方向性 > ①圏央道などの整備効果を生かし、多様な機能がバランスよく充実し、環境と調和した地域 ②農業者が意欲と展望を持ち続けながら農業経営ができる地域

< 土地利用 > 先端技術産業やスポーツ・レクリエーションなどの多様な機能の集積、九十九里浜の海岸線や景観の保全、ほ場整備等による農地の保全、圏央道・銚子連絡道路の整備

【かずさ・臨海ゾーン】 県中央部の東京湾沿岸地域

< 強み > かずさ地域における国際的研究機関等の集積、臨海工業地域、海岸部・内陸部の豊かな自然環境と美しい景観

< 課題 > 駅前等の既存市街地の空洞化、山砂採取跡地の景観の悪化、農業における後継者不足、農産物の鳥獣被害、森林の保全

< 方向性 > ①環境と調和したコンビナートの構築や港湾の機能強化、かずさ地域における先端産業等の集積 ②豊かな自然の中で、多様な都市的サービスを楽しみながら暮らせる地域

< 土地利用 > バイオ関連産業等の誘致、まちなか居住の促進等による既存市街地の再生、農業生産基盤の整備による農地の保全、森林の保全、山砂採取跡地の森林回復

【南房総ゾーン】 房総半島南部の東、南、西を海で囲まれた地域

< 強み > 美しい海岸線、緑豊かな丘陵・里山、冬でも暖かい気候、園芸農業、漁船・磯根漁業、海水浴などの観光産業

< 課題 > 人口減少・少子高齢化に伴う過疎化、農林水産業における後継者不足、農作物の鳥獣被害、観光における宿泊者の伸び悩み、自然災害の未然防止

< 方向性 > ①温暖な気候や美しい自然環境などを生かした観光・レジャー産業を中心とした地域 ②定住人口の増加や地域の伝統的な食や加工品のブランド化の促進を図る地域

< 土地利用 > 観光の振興、定住の促進、美しい海岸線・里山等の保全、生産・生活環境基盤整備による農地の有効利用、河川の安全性の向上、地域高規格道路の整備など

